



作って活かす パスファインダー

平成19年度学術情報リテラシー教育担当者研修

嘉悦大学情報メディアセンター 山田かおり



本講義の内容

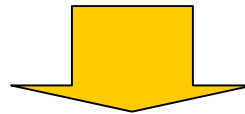
- パスファインダーとは？
- パスファインダーを作るには？
- パスファインダーを活かす



パスファインダーとは？

パスファインダーとは？

- ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手段をまとめたリーフレット
(1枚もののチラシ(**見本**を参照のこと))
- 関連資料の探索方法や代表的な資料が一覧できる



簡便な情報探索ツール



パスファインダーの利点

【利用者側から見て】

- 情報入手の手軽さ
- メディア活用能力の育成
- 別のトピックへの応用
- 主体的な学習能力、問題解決能力の向上



自立した利用者へ！



パスファインダーの利点

【図書館側から見て】

- 均一レベルの情報が提供できる
- 多様なメディアを包括的に紹介できる
- 潜在的利用者にも働きかけができる
- 自館の不足資料の確認や、資料やデータベースについての勉強ができる



攻めのレファレンス！！



パスファインダーの例

- 「パスファインダーバンク」 私立大学図書館協会
東地区部会企画広報研究分科会

http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

- 「レファレンス協同データベース<調べ方マニュアル>」
国立国会図書館

<http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>

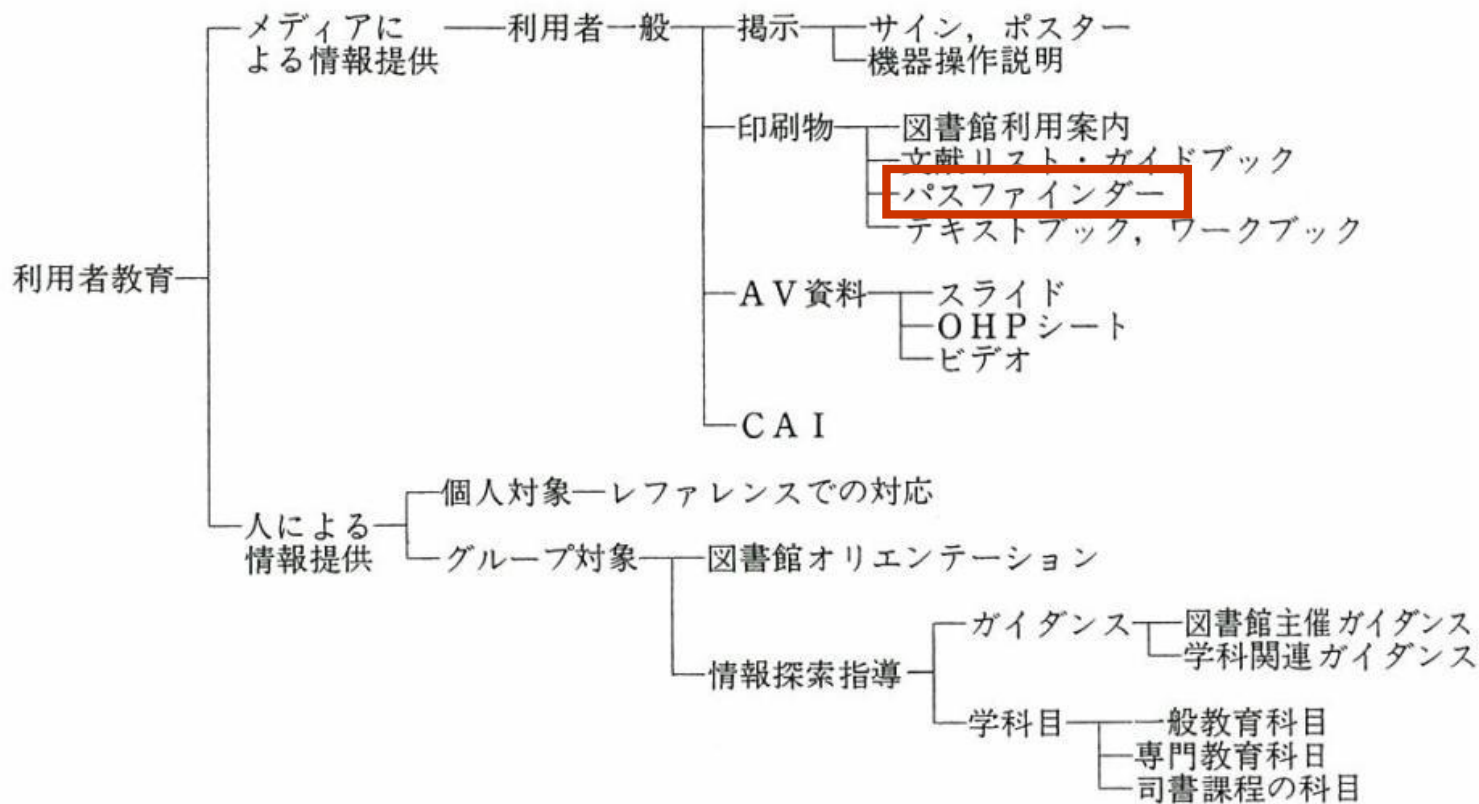
- 「学び舎・楓」 北広島市教育委員会

<http://www.manabi.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/asp/SLK010.asp>

利用者教育から見たパスファインダー

- 丸本郁子、椎葉もと子編著「大学図書館の利用者教育」 1989年

図表 1-1 利用者教育の形態



利用者教育から見たパスファインダー

■ 図書館利用教育ガイドライン - 大学図書館版 - 2001年

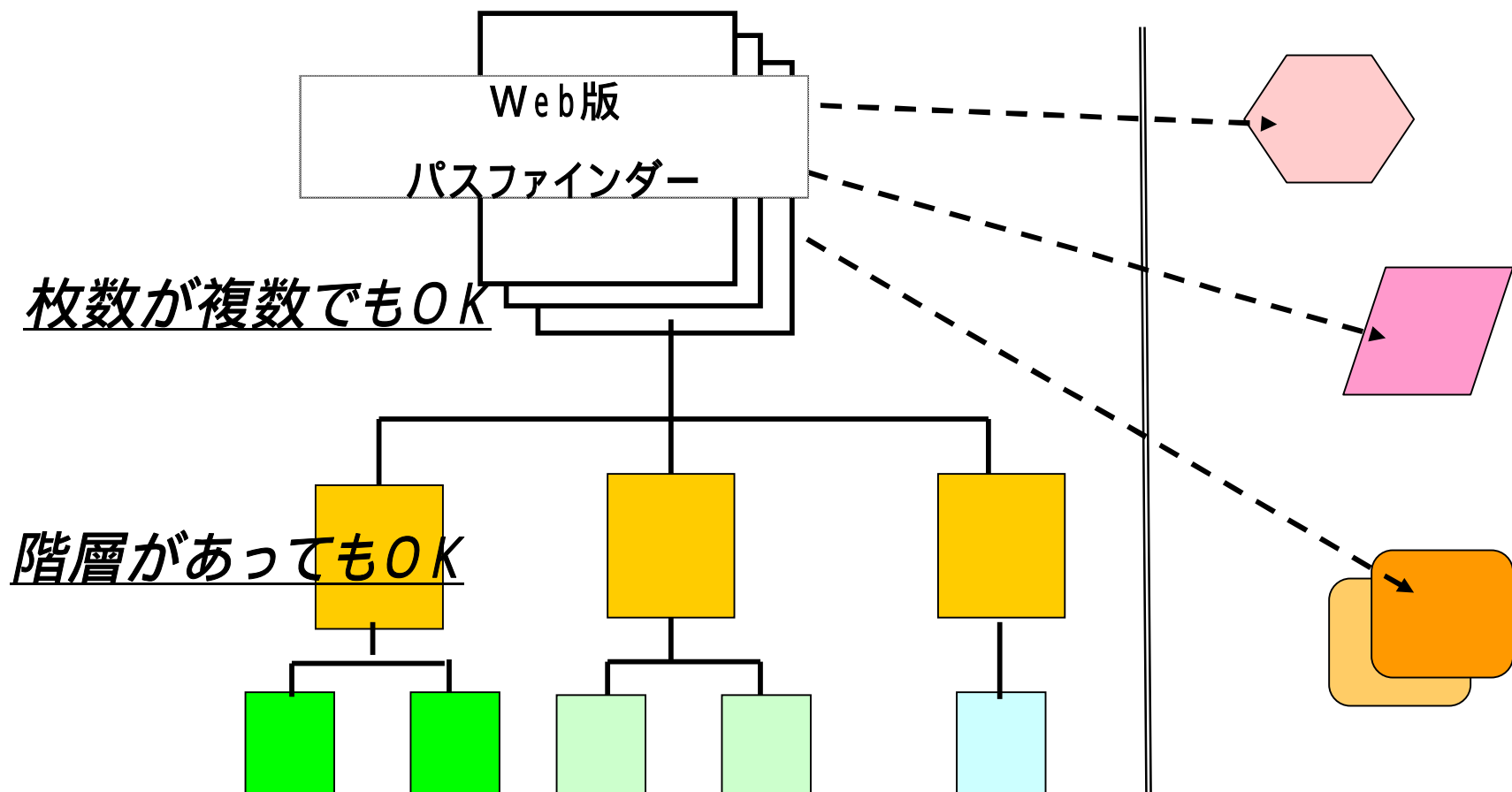
IV. 方法


	領域1 印象づけ	領域2 サービス案内	領域3 情報探索法指導	領域4 情報整理法指導	領域5 情報表現法指導
方 法	1.ポスター、ステッカー、ちらしなどによる図書館の存在のアピール 2.パンフレット、リーフレットの配布 3.大学のサイン計画(図書館までの誘導機能、図書館ゾーン、道路等) 4.大学広報誌、地域広報誌との連携 5.パブリシティ(マスコミ利用) 6.地域や他機関からの訪問・見学 7.学内・地域データベースへの公開 8.行事(展示会、講演会、コンサート等) 9.大学ガイダンス、オリエンテーションでの図書館紹介 10.授業の中で、教員による図書館の意義への言及 11.会議・会合での図書館への言及 12.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)での案内	1.図書館オリエンテーション 2.案内デスク 3.館内見学ツアー 4.館内サイン(定点、誘導) 5.動線計画、施設設備計画 6.学内図書館所在地一覧 7.配布物(パンフレット、リーフレット) 8.案内機器(AV機器、コンピュータ) 9.学内広報誌 10.学内データベース 11.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)での案内	1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報探索法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア	1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報整理法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア 19.情報整理・加工コーナー設置 20.展示会	1.レファレンスデスクでの指導(参考業務、調査法指導) 2.ワークショップ、講習会 3.ビデオ上映会 4.学科関連指導(授業、ゼミ) 5.学科統合指導 6.独立学科目 7.チュートリアル 8.ゼミ先輩による指導 9.情報表現法独習用ツール(ビデオ、CAI等) 10.ワークブック 11.テキストブック 12.パスファインダー 13.機器・資料の使い方リーフレット 14.機器・資料の使い方サイン 15.電子掲示板システム利用 16.コンピュータ・ネットワーク(インターネット等)利用 17.学内広報誌 18.マスメディア 19.情報生産・発信コーナー(ワープロ、パソコン、ビデオ、コピー機、印刷機等) 20.展示会、発表会

パスファインダーの展開

■ 紙媒体からweb版へ

外部情報へリンクもOK





パスファインダーを
作るには？



理想的なパスファインダーの条件

- 特定のトピックを扱っている
- ナビゲーション機能を備えている
- 資料・情報源の一覧性がある
- アクセスの簡便性がある



トピックの選び方

- レファレンス質問が多いもの
- 誰もが調べる可能性があるもの
例) 人物情報、企業・団体情報、統計
(関西大学図書館、慶應義塾大学三田メディアセンター)
- 学部、学科、コース等に対象を絞ったもの
例) 心理学－認知心理学－記憶
(愛知淑徳大学図書館)
イヌイット、NPO、ソニー(東洋学園大学図書館)

パスファインダーの構成

見本 を参照

トピックにあわせて
選択しましょう

- キーワード
- 入門的な情報源
(百科事典等)
- 図書
- 雑誌・雑誌記事
- 新聞・新聞記事
- 専門的な情報源
(専門事典、白書、
年鑑等)
- AV資料
- webサイト
- 類縁機関
- その他



パスファインダー普及を阻む要因

- 技術・知識・経験の不足(ノウハウ)
- 労力の不足(要因・研修)
- 鮮度保持の困難(継続的更新)
- 運用体制の弱さ
(ニーズと改善のサイクル)

パスファインダー普及のための解決策 / バンク構想

- 技術・知識・経験の共有
- 労力の分担
- 継続的な更新の仕組み
- 運用組織の確立

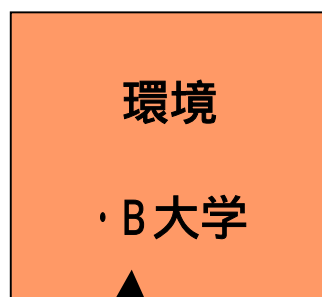


バンク
構想

私立大学図書館協会東地区
部会企画広報研究分科会

パスファインダーバンクの仕組み

パスファインダーバンク側



各大学図書館側



A大学



B大学

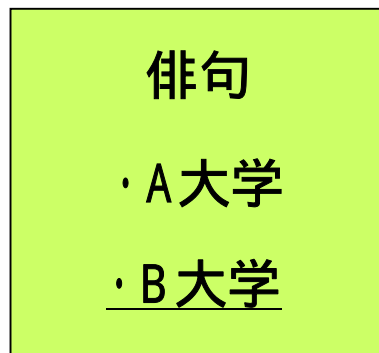
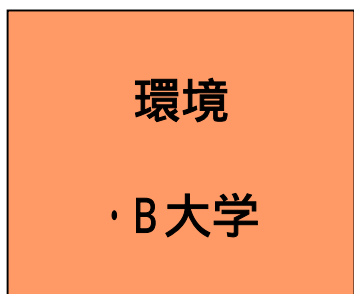


C大学

第1段階： リンク集を作る

パスファインダーバンクの仕組み

パスファインダーバンク側



登録する

ダウンロード

各大学図書館側



B大学

改良版を作る
(カスタマイズ)

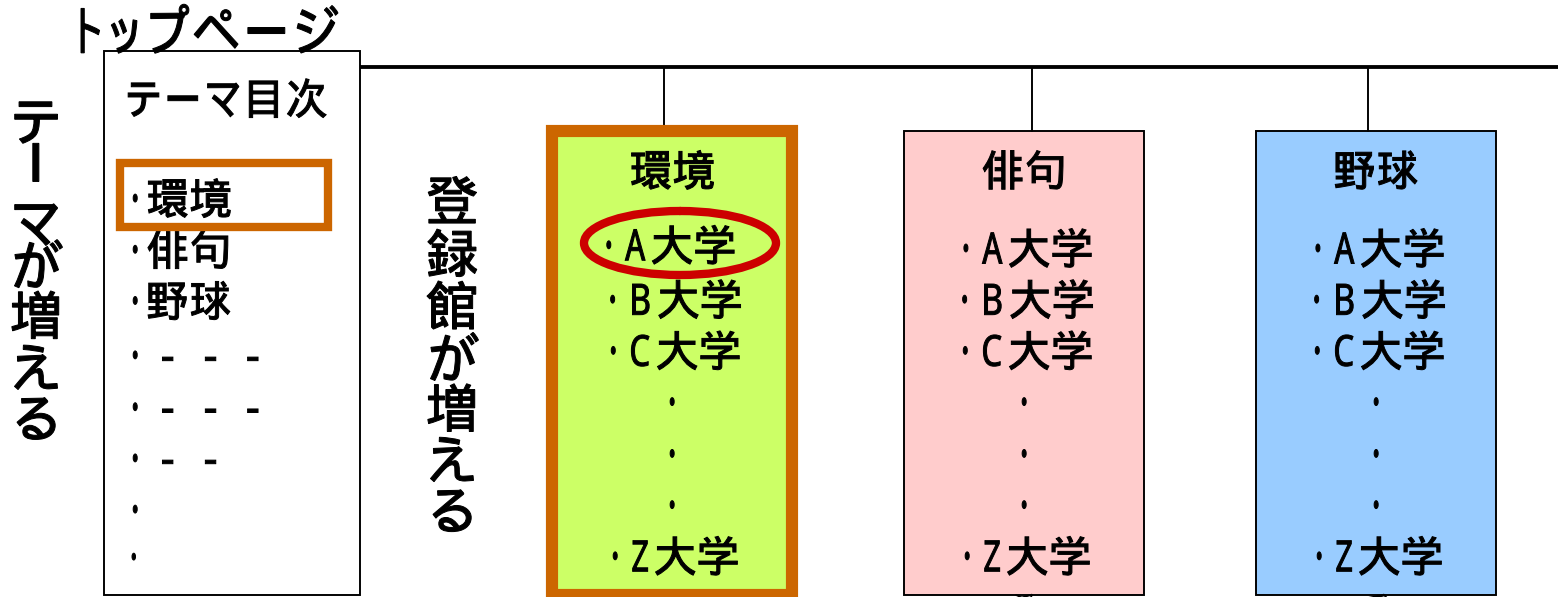


A大学

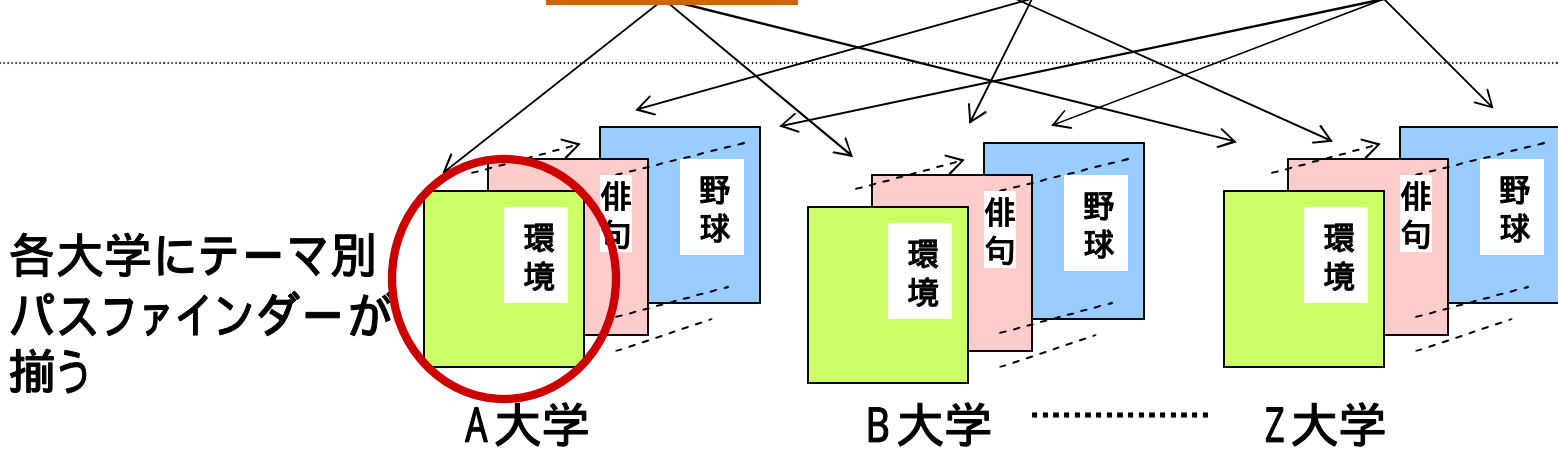
第2段階：改良版を登録してもらう

パスファインダーバンクの仕組み

パスファインダーバンク側



各大学図書館側



第3段階：テーマ別各版勢揃い

パスファインダーバンクの使い方

■ パスファインダーバンク


http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

パスファインダー
の閲覧

パスファインダー
作成マニュアル

パスファインダー
雛型の利用


The screenshot shows a web browser window displaying the PFB website. The page title is "PFB パスファインダーバンク" and it is presented by the "企画広報研究分科会". The main content area is titled "パスファインダーバンクへようこそ!" and contains a welcome message: "このページは、私立大学図書館協会東地区部会研究部研究分科会の1つ、企画広報研究分科会が提案する「パスファインダーバンク」のサイトです。" Below this, there is a "Current News" section with a headline "講習会成果をアップしました☆ 2007/09/18" and a brief description: "2007年7月10日に開催された、「図書館広報実践講座」で参加者の皆様が作成した成果をアップしました。上の「講習会成果」タブよりご覧ください。" The left sidebar contains a navigation menu with items: "トップページ", "パスファインダーバンクとは", "利用方法(参照編)", "利用方法(作成編)", "↓ LINK ↓", "企画広報研究分科会", and "LibPR". The browser's status bar at the bottom shows "インターネット".



パスファインダーバンクの使い方

【自館用パスファインダーの作成方法】

- バンクに掲載されたパスファインダーを参考にする
- バンクに掲載されたパスファインダーをカスタマイズする
- バンクに掲載されている雛型やマニュアルを元に作成



パスファインダー作成で重要なこと

- トピックの設定
- 対象者の設定
- 不安なときは、試作版として公開 修正



使ってもらえるものを作成しよう！



パスファインダーを
活かす

利用されるパスファインダーを作るために

■ 本学でのパスファインダー作成のきっかけ(1997年)

同じ質問が
何回も来て
大変！！

回答する内容を1枚
にまとめて、印刷
しよう

障害者と情報機器について調べるには？

①図書

障害者関係の図書は2階の369.27(障害者福祉)にあります。分類番号についての詳しい説明は「図書館利用の達人3」を見てください。

367.27 J 『コンピュータと人間の共生』 情報科学国際交流財団 コロナ社
OM 『障害者とMacintosh』 小川美紀雄 毎日コミュニケーションズ
E 『バリアフリーの商品開発 1、2』 E&Cプロジェクト 日本経済新聞社
OS 『暮らしが変わる・ハイテク福祉』 太田茂 中央法規出版
M 『障害者のパソコン・ワープロ通信入門』 みんなのねがいネット 全国障害

378.28 HH 『コンピュータ用語の手話』 長谷川洋 中央法規出版

図書が貸出中かどうか調べたり、その他の図書を調べる時はOPAC(検索機)で検索してみると良いでしょう。書名を入れたり、「ショウガイシャ」(23件)、「ショウガイシャフクシ」(23件)、「ショウガイシャ!」(44件)など件名で検索も出来ます。詳しくは「図書館利用の達人4」を見てください。

②雑誌記事

レポートに参考になる資料は図書ではありません。雑誌記事を引用すれば、少しレベルの高いレポートが書けるかも…。

“われら、インターネットユーザー／聴覚障害者コンピュータの会” 松本七重 「コンピュータピア」1997.11 p132-135

“コンピュータと教育 3 障害者” 滝田誠一郎 「中央公論」1998.6 p264-273

“特集：情報化社会への視覚聴覚障害者の参加を考える” 「情報処理」1995.12 p1110-1144

“まばたきで本を書く” 烏賀陽弘道 「AERA」1998.9.28 p38-40

これらの雑誌はカウンターにあります。利用したい人は、カウンターまで。

その他の雑誌記事を調べたい時は、「図書館利用の達人6」を見てください。また分からないことがあったらいつでも図書館員に声をかけてください。

③インターネット

図書より雑誌よりさらに新鮮な情報を手に入れるには、やはりインターネットでしょう。YAHOO!では、障害者というカテゴリーの中の障害者支援工学というを検索してみます。すると「視覚障害者と電子出版」、「福祉パソコンの会」などいくつかのホームページが紹介され



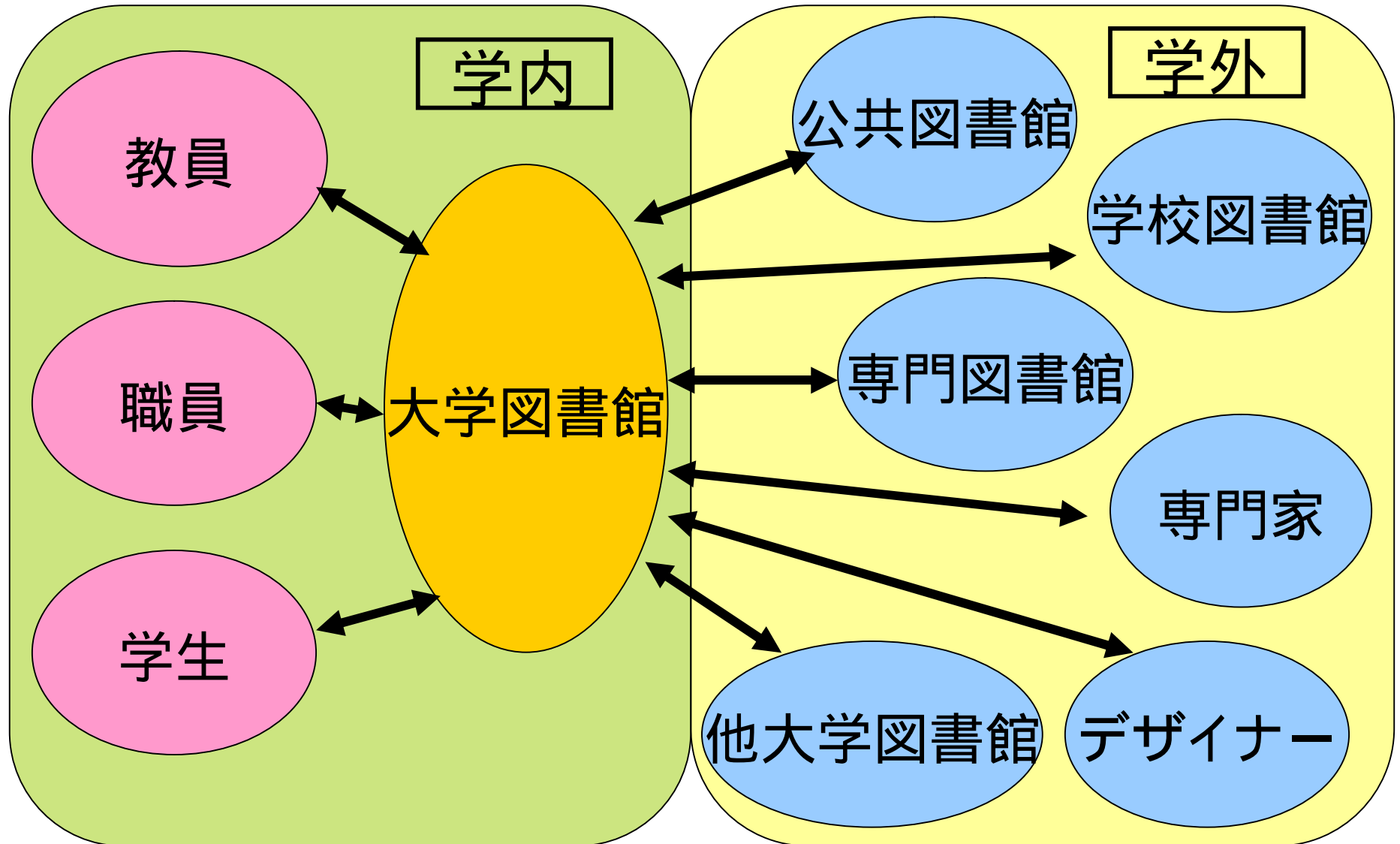
利用されるパスファインダーを作るために

【本学での作成事例】

調べ方ガイド <http://kimc.kaetsu.ac.jp/guide/>

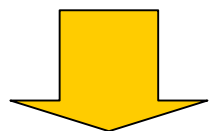
- 教員、学生と協力して作成
 - 例) 労働情報を調べよう、資格を取ろう
- 講習会や授業で配布
 - 例) 科学技術情報を調べよう、法令や判例を調べるには？
- 図書館に求められていることは何かを意識する
 - 例) 就職活動を応援します、白書を使おう
- 教職員向けのパスファインダー
 - 例) 自己評価報告書作成のためのパスファインダー

コラボレーションが有効

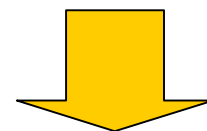


パスファインダーの更なる利点

- 教員からサブジェクトに対する知識や情報を学ぶ、教員に認めてもらえるものを作成する
- 学生のニーズを把握する、一緒に成長する
- 職員に役立つものを作ることにより、大学経営にかかわる
- 地域貢献、他大学・組織への貢献



大学コミュニティの
中での図書館

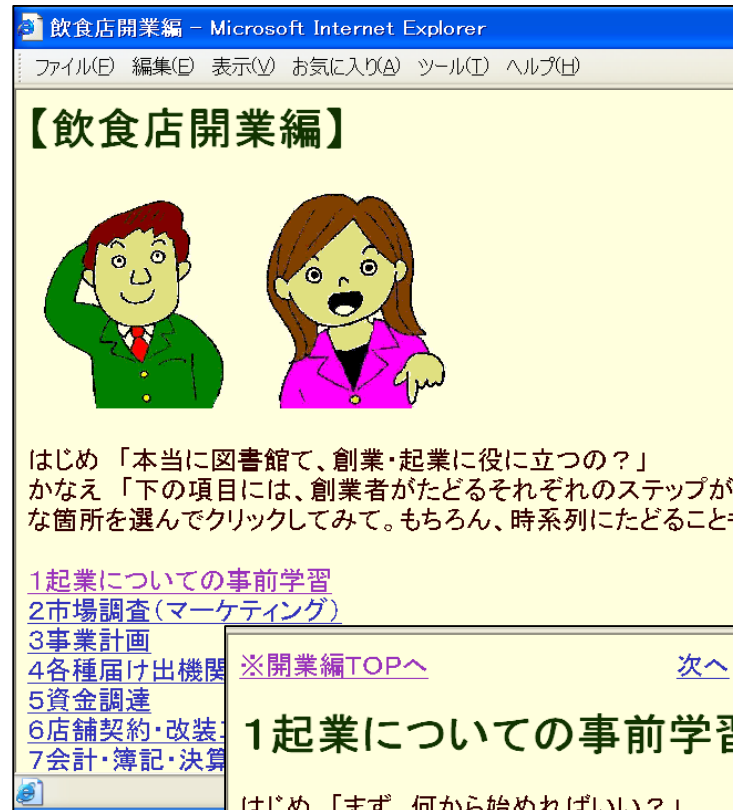


専門的職業としての
図書館員

パスファインダーの展開

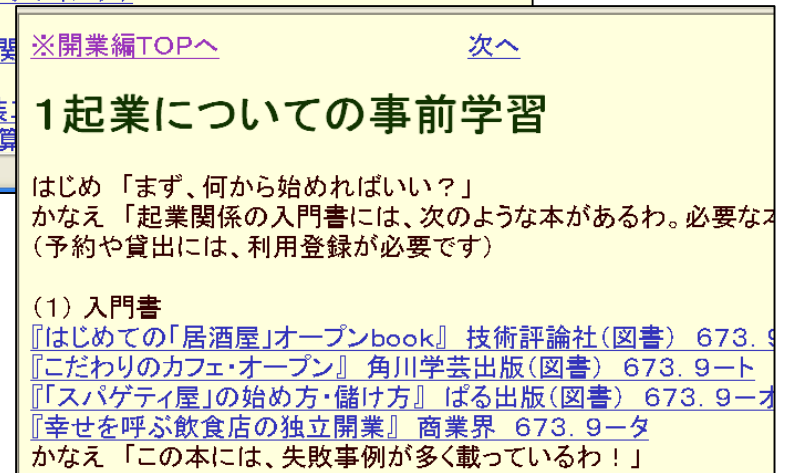
■ トークファインダー

例) 新宿区立図書館



■ 動画、音

例) 参考になるYouTube等





配布や周知方法

- ガイダンスや講習会で配布、又はwebページの紹介
- 教員に配布をお願いする
- パスファインダーに掲載した資料を書架に集める
例) 千葉大学附属図書館
- パスファインダーという用語にこだわらない
例) 国立国会図書館「調べ方ガイド」

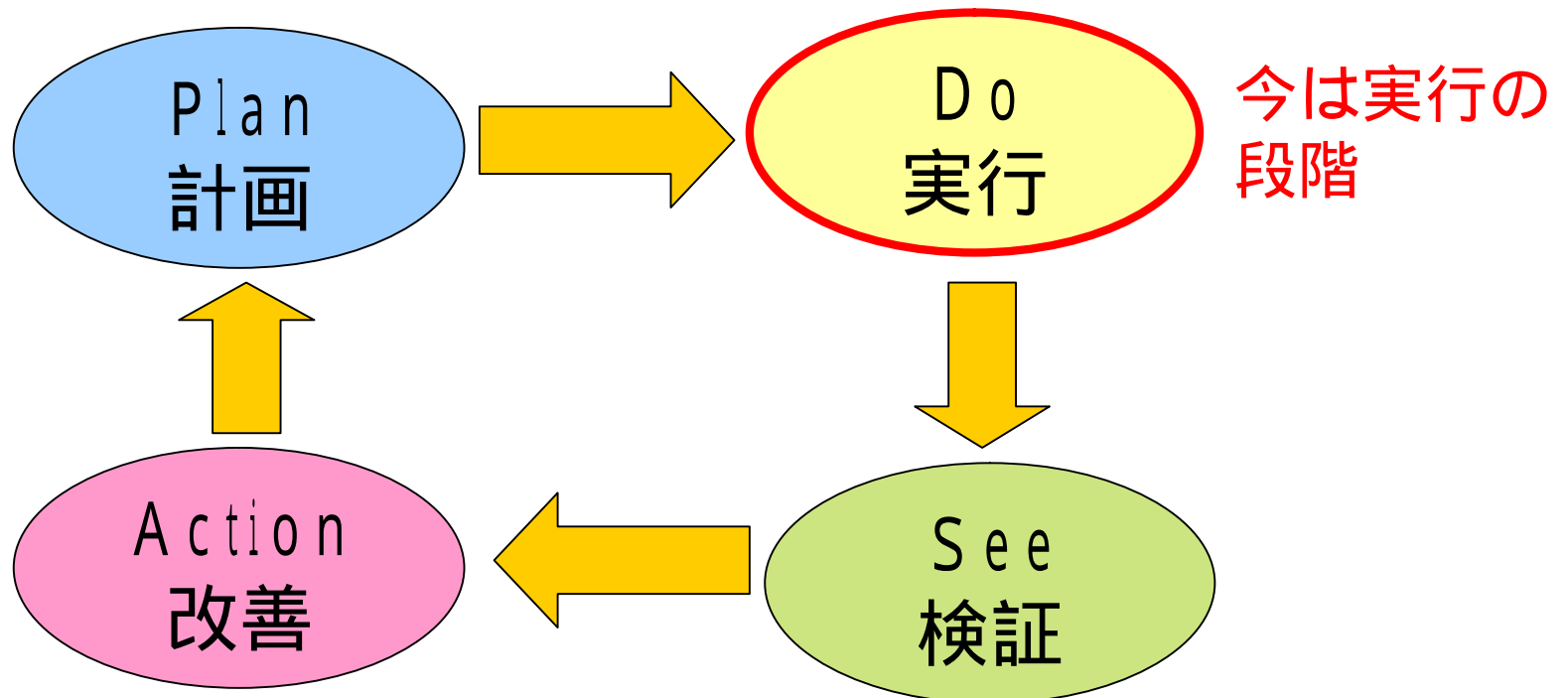


定期的なメンテナンスを

- リンク切れや配架場所の変更などに注意！
- こまめな更新は無理でも、授業での配布前にはチェックを！！

課題

- パスファインダーの評価、研究
 - パスファインダーについての論文、統計は少ない
 - 利用者からの評価、図書館員としての研究が必要





最後に・・・

- 大学コミュニティ構成員の一員として求められているもの、図書館として重要なことが何かを把握し、自館に合った情報リテラシーのツールを作成しましょう。
- パスファインダー作成のためのパスファインダー
<http://kimc.kaetsu.ac.jp/guide/>



終わり

ありがとうございました。